

平成23年4月19日(火)

被災者、支援者、行政関係者等のみなさまへ

厚生労働省

「生活支援ニュース」第3号をお届けします。
～自宅にとどまっている方にも情報提供を～

東日本大震災から1カ月以上が過ぎ、被災者の方々、支援者や行政関係者の皆さんも、心身ともに疲れがピークを迎えていると推察いたします。くれぐれも、ご自身をいたわり、そして、まわりの方々ともケアしあっていただければ、と思います。

「生活支援ニュース」第3号をここにお届けします。今回は、この時期に気をつけていただきたい「感染症の予防」をはじめ、仕事と健康に関する情報などをお届けいたします。被災者の方々の日々の生活に少しでもお役に立てれば、幸いです。

《このバッグには、以下のものが入っています。》

- 生活支援ニュース(本体) 50部
- 掲示用大型ポスター 2部 … 大規模避難所等での貼り出し用。

《支援者の方や、被災地を含む行政関係者の皆さんへ》

支援に入られている民間の方々や、被災地を含む全国の行政関係者の皆さんが、被災地の復興のため、日々取り組まれていることに、心より敬意を表します。

「生活支援ニュース」は、今回より、配布ルートを若干変え【詳細別紙参照】、被災市町村の役場本庁等の災害対策本部に送付することを、その配布ルートの基本とする【300人以上規模の避難所への直接送付はしていません】とともに、避難所1か所あたり概ね1バッグ(50セット)程度の配布となるよう、送付部数を調整しております。お手数をかけますが、避難所等への配送につき、よろしくご配慮を願います。

また、一部の被災自治体から配布部数の増減要望がありましたので、それらについては補正をしております。今後の送付部数のご要望等については、別添をお読みいただき、ファクス等により、お知らせいただければ幸いです【今回の調整により配布部数が減少している市町村もありますが、ご要望いただければ、配布部数を再度増やすことも全く問題ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください】。

また、すべての被災者の方々が避難所におられるわけではなく、自宅その他、避難所以外におられる方にとっても、各種情報は必要かと存じます。そういった分についての配布のご要望があった市町村につきましては、今回、部数を増やしておりますが、そのほかの市町村におかれてもそういったご要望がある場合には、ご遠慮なく、別添ファクス用紙により、必要部数をお知らせいただければ、と思います。

なお、保健師さんその他の関係者が、避難所や被災者のご自宅等を回られる際にも、市町村の災害対策本部や避難所などでこの「生活支援ニュース」を入手していただき、適宜、活用していただければ、と思います。

以上